

## 【案件概要】

# ワキソ県における孤児のための電気及び給水設備整備計画

## 1. 計画の概要

被供与団体	あしながウガンダ
供与額	90,964米ドル
署名者	阿部泰明(オフィス・マネージャー)
計画名	ワキソ県における孤児のための電気及び給水設備整備計画
実施地	ワキソ県(ウガンダ中部)
供与内容	ソーラー発電システム及びソーラーポンプシステム
贈与契約署名日	2016年1月25日

ウガンダ中部ワキソ県ナンサナで活動するあしながウガンダは、あしなが育英会を母体とする2001年設立のローカル NGO であり、日本人スタッフ3人、現地スタッフ8人及び日本人ボランティアスタッフ8人によって運営されています。同団体は2003年にワキソ県ナンサナ町に建設した「レインボーハウス」を活動拠点とし、同地区のエイズ孤児を対象に、カウンセリング、家庭訪問、HIV/AIDS 教育、識字教育、NGO・CBO のキャパシティ強化、日本語教育、日本の大学への留学サポートなどを通じ、精神面及び教育面での支援を行っています。また、同団体は、2014年に「アフリカ遺児高等教育支援100年構想」を打ち立て、「心塾」と呼ばれる合宿所を建設しアフリカ・サブサハラ以南の35か国から孤児35人を毎年心塾に受け入れ、将来のアフリカのリーダーを育てるため欧米諸国を中心とした大学入学を目指し集中トレーニングを6か月間実施しています。これら施設では不安定な電力及び水供給のため、適切な教育環境を孤児たちに提供できていません。本計画によりソーラー発電システム及びソーラーポンプシステムを整備し、安定した電力及び水の供給を通じて彼らの活動をサポートすることにより、あしながウガンダに登録されている孤児700人及びスタッフ約20人が裨益し、心塾に滞在するアフリカ・サブサハラ以南諸国からの遺児学生約35人が裨益します。

## 2. 贈与契約署名式

2016年1月25日、在ウガンダ日本国大使館において、藤田順三大使と阿部泰明氏の間で贈与契約が署名されました。

プレスリリース(英語)

写真